



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局
Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 396 号

(創刊 1988.12.14)

2022.09.04.

「夜8時過ぎは騒音の出る作業は 控える」と約束 (NEXCO 東 桂台トンネル工事において)

7 月末から 8 月初めにかけてシールドマシンが湘南桂台の第 4 公園の公衆トイレ付近に近づいたときに、ドーンドーンと大きな騒音が公園に響きわたりました。桂台自治会員の中から強い苦情が出て自治会長に伝え、自治会長は NEXCO に連絡しました。

2 日後の 8 月 4 日夕刻に NEXCO の桂台トンネル工事長他 2 名が見えて近隣住民 4 名と話し合いが行われました。

「桂台の生活環境を守る会」にも要請があり話し合いに立ち会った。

「夜 8 時を過ぎたら床に就くので電話はしないで下さい」という高齢者が多いなかで「夜遅くまでの騒音は控えて欲しい」という強い要望に対して、**今後夜 8 時過ぎは騒音の出る作業を控えることを約束しました。**

当初 24 時間止まることは無いとスタートしたシールドマシン工事も住民の苦情で夜 10 時～11 時までとなり、更に今回、夜 8 時までとなりました。

(桂台の生活環境を守る会 鈴木伸之)

横環南線・横浜湘南道路 更なる供用時期の遅れ

8 月 4 日に「神奈川県圏央道連絡調整会議」が開催され、両道路の供用開始見込みが**諸々の問題から**、2024 年度(横浜湘南道路)、2025 年度(横環南線)の開通は困難、又現時点で新たな開通目標を示すことも困難との事で、トンネル掘進状況等を踏まえ改めて公表するという。

諸々の問題とは？(資料より要旨)

《》内は筆者のコメント

●横環南線

- ①2021 年 7 月のシールドマシンが破損により約 1 年弱停止**《本当？7 か月では》**
- ②住宅が近接、騒音・振動について意見を受け掘進速度の調整を継続する等周辺住民への影響配慮の対策・検討が必要
- ③施工済みトンネル内を工事用道路として活用することに対して掘進状況による工事工程の精査が必要**《当初から活用計画のはず、何の精査が必要、計画が未熟だった？》**
- ④シールドトンネル工事の安全・施工に関するガイドライン(2021 年 3 月)に基づく施工管理や周辺生活への配慮への取り組み

●横浜湘南道路

- ①シールドマシンが 2018 年 11 月、障害物に接触し約 2 年間停止、昨年 6 月に再開し、一部損傷した固定式ビットで掘進中。ビット交換作業が新たに必要になった。
- ②藤沢回転立坑でのマシン転回は他の工事との絡みで立坑内の狭小な空間のみによる慎重な作業が必要となった。
- ③シールドトンネル工事の安全・施工に関するガイドライン(2021 年 3 月)に基づく施工管理や周辺生活への配慮への取り組み

●横浜市から以下の意見があった。

横環南線の脱硝装置の設置について検討し、早期に設置の判断を要請する。

✓それへの事業者より回答：環境基準が満たされる予測となっており、設置については慎重に検討する必要あり、引き続き環境影響照査を実施していきたい。

《市議会採択請願は、事業者に設置するように、との検討要請であったはず。今回の要請は、行政サイドが強く設置を求めず、単に早期の設置判断のみ求めている。どちらでも良いよ、との言い方も見え問題、請願趣旨を逸脱していると思料》

(事務局長 長谷川誠二)

今回の供用開始が遅れることは大問題だ、事業者の地域住民対応を求める。

現在でも工期が遅延していることにより、公田工事区の残土搬出ルート沿線の湘南桂台、西ヶ谷ハイツ住民には多大な騒音・塵埃被害を及ぼしている。又、防音ハウスの日陰による上之町への被害も今後も継続する。NEXCO 東は開通時期変更の住民説明会を至急開催し被害軽減についての対策を説明する必要がある。

(ネオポリス 大橋)

事業者との質問・回答会議

(6月30日)概要報告(その②)

前号に続いて概要報告をします。

(3)2月5日市議会道路等委員会における脱硝装置設置要請を事業者文書で要請するとして件のその後の取り組み状況

市道路局としては「文書も手段の一つとして、あらゆる手段を使って働きかけていくと考えている。請願の時のような直接文書を出すということは、今のところ考えていない」との回答であった。

当方より、市議会では「請願時に市長要請文書を出して、その後大分時間が経ったが進んでいない。言葉での要請では話しが進まないのだから、再度ちゃんとした文書を出せ！」との井上さくら議員の意見を「議長が文書を出すことで引き取った」との認識である。文書は出さないとの回答は納得できない。その時の議会録画、議事録はある。確認して改めて対応することとした。

今回の回答は、そもそも、政治の判断の方向・趣旨を、行政が捻じ曲げて従わないとする尊大さが見え隠れしているように映る。

(4)桂台トンネルの超近接並行トンネルの安全性について、線形管理の許容値とリアルタイム管理における上下線トンネルが一番近接するSTA-23地点における実績は幾つか。

回答は ①線形管理許容値 50mm ②STA-23地点の実績は、上方向5mm・水平方向20mmのずれ、また、地表面水準高さは+1mmであった。

(5)神戸橋ルーバーの構造設計業務の発注が2回も応募者無しで調達不能であったことについて、通常走行時はルーバーから排ガスの漏洩は無いとする技術的手法について、コンサルタントでは技術上担保出来ないと言うことではないか？

2回調達不能はあったが、現在は発注済みで既に着手している。この業務は言われるような排ガスの挙動、影響低減を検討するものでなく、ルーバーを用いた蓋掛け構造がどんな構造なら成り立つかを検討するもの、との回答であった。

(事務局長 長谷川誠二)

公共事業改革市民会議世話人会

題記のZOOM会議が8/1に開催された。国会における公共事業改革チェック議員の会に連携した活動を行ってきましたが、近年携わってきた議員の入れ替わり等があり活動が滞っていました。

この間外環道での大深度法や各地における土地収用法の適用を巡って住民を蔑ろにした事業ありきの法体制に立ち向かうべきとの意見が続出し今後の方針を巡って再度10月に話し合うことになりました。(会長 比留間)

【対外活動報告】

08/01 公共事業改革市民会議

(会長 ZOOM 参加)

08/03 国交省連協単独要請行動

(公害総行動関連、会長、事務局長)

08/04 連絡調整会議 開催

08/05 同会議 記者発表

08/05 低周波調査会 (会長 ZOOM 参加)

08/08 栄区区政推進課申し入れ (8/5 発表の
圏央道連絡調整会議関連、会長)

08/19 低周波調査会 (会長 ZOOM 参加)

08/27 外環道講演会(トンネル技術者が見た外環
道事故原因と大深度安全神話の虚)

ZOOM 参加 会長 リアル参加)

08/30 外環道路学習会 (低周波の影響はどこま
で解ったか) ZOOM 参加: 会長参加)

08/31 栄区区政推進課申し入れ